

Ⅲ. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への挑戦

1. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けた基本的考え方

J Aグループは、自己改革の最重点課題である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けて、組織一丸となって取り組みます。

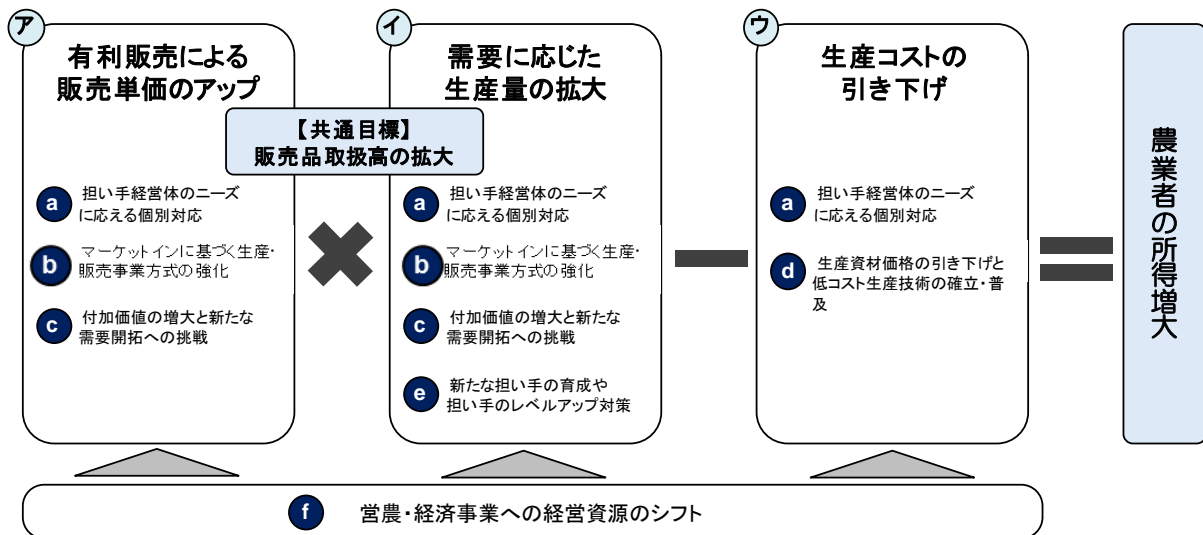
このため、経営資源のシフトにより営農・経済事業を強化し、担い手経営体のニーズに応える個別対応やマーケットイン（注1）とプロダクトアウト（注2）を組み合わせた生産・販売等により、それぞれの組合員ニーズにきめ細かく対応する複数の事業方式の転換を進めます。

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の実現には、国および地方自治体との連携が必要です。J Aグループは、国および地方自治体に対して、担い手育成や経営所得安定対策など、農業政策の確立を求めています。

【共通目標の設定】

J Aグループは、「農業者の所得増大」に直結する「販売品取扱高の拡大（注3）」をJ Aグループ岡山の共通目標として掲げ、J Aは、どのようにしたら「販売品取扱高の拡大」を実現できるか、組合員とともに課題と目標を共有化し、実現のための取り組みを策定・実践します。

【「農業者の所得増大」の考え方】



（注1）マーケットインとは、「消費者がより必要とするものを作る」という事業方式をいいます。要するに、J Aが顧客ニーズを把握し、そのニーズと生産者サイドとの仲介役機能として販売事業を展開することです。

（注2）プロダクトアウトとは、生産販売を行う上で、生産者の技術や努力によって生み出された付加価値を活かした事業方式をいいます。生産現場から誇りあるプレミアムな農畜産物や6次化商品を開発し、消費者へ提案することです。

（注3）共通目標として掲げる「販売品取扱高の拡大」は、有利販売による販売単価のアップと生産拡大を反映した「農畜産物等の販売収入」に加えて、政策活用や6次産業化等による利用・加工事業を含めたものとします。